

令和3年度(2021年度)アユの遡上補助作業及び遡上調査の記録

公益財団法人サイサン環境保全基金 助成事業



東京湾から入間川水系へ遡上してくる アユを増やし、地域の夏の風物詩だった 川漁を復活させる 事業報告書





c o n t e n t s

1. 2021年度の遡上調査活動の概要	③
2. 浅間堰魚道の改修活動及び菅間堰下の魚類相調査	⑤
●浅間堰の遡上補助施設の遡上環境を改善するための活動経過	
●菅間堰下流の魚類相調査結果(四つ手網を使用)	⑥
3. 浅間堰下流の標識アユ放流と入間川の遡上調査	⑦
●改修した浅間堰の遡上補助施設下流で標識作業	
●浅間堰遡上補助施設の遡上環境改善についての調査結果	⑨
4. 矢来堰下流の標識アユ放流と都幾川の遡上調査	⑨
●矢来堰の新設魚道下流での2日間の標識作業	
●都幾川の矢来堰に新設された階段式魚道の遡上効果調査	⑬
●2021年度 標識アユ調査表①入間川.....	⑭
●2021年度 入間川・都幾川水系の魚道効果の調査結果 MAP	
●2021年度 標識アユ調査表②都幾川水系	⑮

1. 2021 年度の遡上調査活動の概要

(1) 活動の目的

東京湾と荒川水系の水質状況の改善により、2006 年から遡上する稚アユが激増したが、入間川水系に魚道のない取水堰等が存在するため、劣悪な遡上環境が続いていた。私たちネットワークが魚道等の設置による環境改善を提案したことで、埼玉県による遡上環境改善事業が実現し、入間川水系の7つの堰等へ魚道が設置された。

さらに、2017 年からは越辺川の2つの堰と都幾川の堰に魚道が設置された。設置された魚道を効果的に活かすために、遡上状況を調査し、アユの遡上効果が上がらない堰には、補修等の活動も必要になってきた。

また、東京湾から入間川・越辺川水系の中上流部に遡上してきたアユを川の恵みとして各地域で活かすため、川の漁労文化の復活も求められている。

(2) 実施体制

実施主体：NPO 法人 荒川流域ネットワーク

技術指導：埼玉県魚類研究会 金澤 光

協力：東松山農林振興センター／埼玉南部漁業協同組合／入間漁業協同組合／埼玉西部漁業協同組合／武蔵漁業協同組合

(3) 新設魚道に対する調査の経過

私たちネットワークでは、2009 年から 2013 年まで、入間川流域にある 50 ケ所を越える堰等に標識アユを放流して、遡上効果調査を行なった。その情報を魚道設置事業に対する資料として県に提供した。

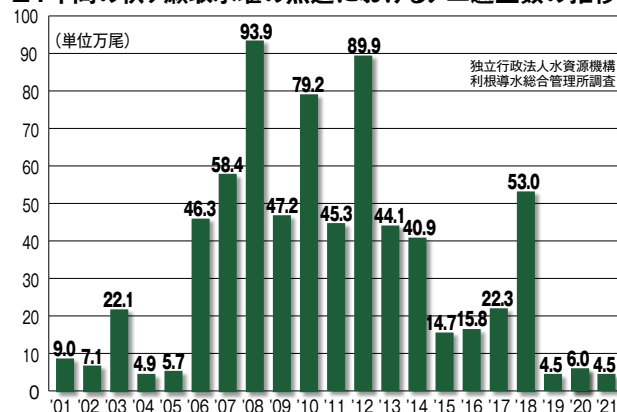
私たちネットワークの提案を受けて 2012 年から始まった県の「川のまるごと再生プロジェクト」事業で、入間川の堰や床固め工に設置された魚道と遡上補助施設に対する遡上効果調査を行ってきた。

2014 年度は、新設された寺山堰の魚道と浅間堰の遡上補助施設の遡上効果を調べるため、アユに標識を付け、寺山堰下流から放流した。調査の結果、寺山堰と浅間堰の間で7尾の標識アユを再捕し、寺山堰の魚道の遡上効果を確認できた。

2015 年度は、菅間堰の魚道がスロープの形状で一応の完成をみたが、大幅な改修が必要であることが分かり、さらに1年をかけて改修することになった。そこで、魚道に砂袋と石を仮置きして、流速や遡上環境を改善した上、アユに標識を付け、菅間堰の魚道の下に放流した。調査の結果、上奥富堰の魚道の



21年間の秋ヶ瀬取水堰の魚道におけるアユ遡上数の推移



2008 年魚道設置前の増水時の菅間堰左岸の落差状況。落差が大きく、流速も速い

2016 年 4 月に隔壁を付け、改修を終え完成した新設の魚道。上流部に砂袋を置いて、流量調整を実施した



出口と小畔川の合流点で1尾の標識アユを再捕した。菅間堰の魚道改修について県と協議し、新たにプールを掘削して設けるなど、大改修が行われた。

2016年4月末に菅間堰魚道の大改修が終了したことから、堰下へ標識アユを放流した。魚道で映像調査した結果、122尾が魚道を遡上したことを確認した。その後入間川・越辺川水系で調査した結果、8尾を再捕し、菅間堰の魚道の効果を確認した。

2017年度は、入間川に完成した8カ所の魚道の効果検証を行うため、菅間堰の下流で標識を付け、魚道の最下段のプールに放流した。魚道の流量調整するとともに、菅間堰下流の魚類相調査も行い、データを集積した。調査の結果、入間川では8尾、都幾川では1尾の標識アユを再捕した。一部が笹井堰上流まで遡上したことが確認できた。

2018年度は、狭山地区の5つの魚道と越辺川の出丸堰に新設された魚道を対象に効果調査をするため、川越橋上流から入間川に、出丸堰の魚道下から越辺川にアユに標識を付けて放流した。同時に菅間堰、浅間堰で遡上補助施設を設置することにより、遡上環境の改善にも取り組んだ。調査の結果、上奥富堰下流で82尾、堰上流で24尾の標識アユを再捕。

越辺川では中山堰下流で5尾、矢来堰下流で1尾再捕した。上奥富堰の魚道は、遡上しづらい状況にあることが分かった。中山堰の魚道は映像からも遡上効果が認められた。

2019年度は、田島屋堰下流から入間川に、出丸堰上流越辺川に標識放流した。調査の結果、入間川は霞川合流点で4尾を再捕したが、越辺川では再捕できなかった。標識放流数が少な買ったこともあり、遡上効果を確認できなかった。

2020年度は、入間川の豊水橋の床固め工上流から標識を付け、放流した。コロナ禍のため、標識鮎の放流数も少なく、十分な調査結果を得ることができなかった。放流場所から上流部で確認されたアユは3尾で、矢風堰下流では1尾も再捕できなかった。今回の調査の結果から、笹井堰上流にある西武鉄道の鉄橋下にある床固め工が、遡上障害物になっている可能性を確認した。

(4) 2021年度の活動計画

2021年度は、都幾川の矢来堰に新設された魚道と私たちネットワークが2月に改修した入間川の浅間堰にある遡上補助施設の遡上効果を調査するため、両堰の下流から標識を付け放流することにした。



2. 浅間堰の改修活動及び菅間堰下の魚類相調査

浅間堰の遡上補助施設の遡上環境を改善するための活動経過

浅間堰の土砂吐け下のプールと遡上補助施設は2014年に完成した。施設は土砂吐けに堰板が設置される5月中旬以降、機能するように設計されていた。しかし、施設の入口と出口に30cmほどの落差ができ、遡上困難な状態が続いていた。そのため施設の出口に土嚢を置いてプールを作ったり、材木や単管パイプを使って仮設の遡上補助施設を作って4年間遡上環境の改善に取り組んできた。仮設施設を毎年設置することが困難ため、2021年に遡上環境を永続的に改善するために改修することにした。

作業に当たり、堰の所有者である名細土地改良区に了解もらい、管理者の荒川上流河川事務所入間川出張所にも、一時使用の申請を提出した。生コンの会社に出向き、1.㎡の生コンを運搬車で現地への配送するように依頼した。



増水時と渇水時の魚道の状況、入口と出口の落差が遡上の障害になっていた



施設出口の落差を解消するために土嚢を設置（2017年）



角材を使って3段のプールを設置し、遡上環境の改善を図った（2018年）



単管でプールを固定してみたが、絡んだ流木の処理が大変だった（2019年）

● 2月23日(水)／浅間堰遡上補助施設の改修

水量／渇水

作業時間／ 9:30～17:30

従事者／浅井、山本悦、山本実、鈴木

24日の生コンを使った本格的な改修に向けて準備作業を行なった。施設の入口と出口にプールを作り、垂直の隔壁に傾斜をつけ、水漏れを防ぐための作業である。生コン打込み用型枠を作り、設置作業を行なった。同時にコンクリートを固着させるためブラシを使い土台のコンクリートの汚れを落とした。初めての作業のため、寒風の中、日が暮れるまで設置作業が続いた。

● 2月24日(木)／浅間堰遡上補助施設の補修

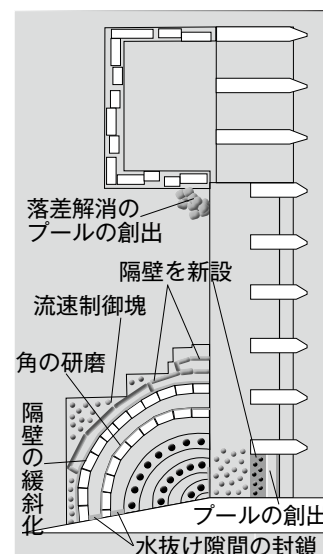
水量／渇水

作業時間／ 9:30～17:00

従事者／浅井、大熊、山本悦、山本実、鈴木

10時に生コン運搬車が現地に到着し、1㎡の生コンを、10個の大型コンテナと大型プラスチックたらいに大急ぎで移した。生コンが固まる前に、生コン打込み用型枠に順次流し込んで行った。流し込みが終わった後は、流速を抑えるための団子状のコンクリートの塊を置いて行った。残った生コンは土嚢袋に入れ、中央部の土砂吐け下流のプール脇に、落差を解消するため投入した。

浅間堰遡上補助施設改修図面





隔壁に傾斜を付ける生コン打込み用型枠を下流側に作製設置(2月23日)



翌日の生コンの流し込みに向けて全てに型枠を設置完了した(2月23日)



生コン1㎡を10個の容器に受け、型枠へ打込み、残りを土嚢袋に(2月24日)

●3月16日(火)／浅間堰遡上補助施設の改修

水量／渇水

作業時間／9:00～13:30

従事者／浅井、山本悦、山本実、鈴木

生コンが固まる期間が来たので、生コン打込み用型枠の撤去作業を行なった。また下流側2段のコンクリートブロックの角を、魚が上り易いように削って角を落とした。全体に障害になっていた垂直の隔壁がなくなり、大幅に遡上環境を改善することができた。土砂吐けの下流に置いた袋に詰めたコンクリートは増水で流されていた。ここの落差解消は今後の課題として残った。

型枠を外す直前の施設出口に造った新設プールと流速制御のためのコンクリートの塊(3月16日)



施設入り口に造った新設プールと流速制御用のコンクリートの塊。一部の型枠木材は撤去できずそのままにした(16日)



土砂吐け下のプールの落差解消のため置いた土嚢は一部流された(16日)



2段目の角形コンクリートブロックは、遡上し易いように角を削った(16日)



プールを新設し、隔壁を上り易くすることで、遡上環境を改善できた。(16日)

菅間堰下流の魚類相調査結果 (四つ手網を使用)

●4月1日(木) 調査者／金澤

水温は18.0℃、水量が多い。遡上稚アユを5尾確認、その他スゴモロコ、コクチバスを捕獲した。川島町側の河川敷は遊水池の掘削工事中だった。

●4月2日(金) 調査者／金澤

水温は18.4℃、水量が多い。遡上稚アユ10尾を確認。その他スゴモロコ5尾、コクチバスを捕獲。

●4月3日(土) 調査者／佐藤正

調査時間は11:30～14:30。水温は18.0℃。オイカワ2尾、オオクチバス1尾を捕獲したが、アユは確認できなかった。

●4月10日(土) 調査者／佐藤正



菅間堰下流で四つ手網を使って魚類調査。下は捕獲して確認後放流した稚アユ(4月2日)



調査時間は11:00～15:00。水温は15.0℃。取水が始まり水量が減少した。捕獲魚類はなかったが、魚道内にアユがいることを映像で確認した。

●5月4日(火) 調査者／佐藤正

魚類の捕獲はできなかったが、堰下流でアユの食み跡を確認。大型アユが生息している可能性がある。

3. 浅間堰下流の標識アユ放流と入間川の遡上調査

改修した浅間堰の遡上補助施設下流で標識作業

●4月6日(火)／浅間堰下流で標識放流作業

天候／曇り 水量：平水

作業時間／9:00～12:00

従事者／浅井、金澤、川嶋、鈴木、廣川、松村、宮崎、山本悦、山本実

今回は、都幾川の魚道設置工事がまだ終了していなかったため、私たちが改修した浅間堰の遡上補助施設の効果調査を行うことにした。今年は稚アユの遡上が例年より早く、漁協への搬送がひと段落したところで、標識用の稚アユを確保することができた。

荒川の秋ヶ瀬取水堰下流で南部漁協が捕獲した稚アユ約5kgを、金澤氏がビニール袋6袋に小分けして現地まで搬送。約2時間標識作業を8名で行い、1,822尾の稚アユのアブラビレを切除し、魚道下流

に放流した。

新たに設置したコンクリートのプールの隔壁は、下流の一部が増水時の水圧により流失した。また、角落とし下流のプールに遡上し易いようにコンクリート塊で作った仮設プールも一部流失した。

荒川からビニール袋に小分けして搬送、大型のザルに入れ替えて準備した



水量が少なく、小型魚道に越流していなかったため魚道内で標識作業を行なった

標識を付けたアユは魚道下に放流した

●4月21日(水)／浅間堰下流で標識放流作業

天候／曇り 水量／平水

作業時間／9:00～14:30

従事者／浅井、柏木、金澤、齊木、佐々木、鈴木、山本悦、山本実

今回も浅間堰遡上補助施設の下流で、追加の標識放流作業を行なった。今年は秋ヶ瀬堰下流での南部漁協による稚アユの捕獲が順調に進み、標識放流用の稚アユを多数確保することができた。金澤氏が

秋ヶ瀬から現地までビニール袋7袋に小分けして搬送。7名で約4時間作業を行い、アブラビレを切除した2,735尾の稚アユを魚道下流に放流した。今回は稚アユが前回より小ぶりだったため、放流数が多かった。偶然、川を見に来た釣り好きの高校生が飛び入りで参加、標識作業を手伝ってくれた。

設置後、増水で流失した隔壁等はそのままにして、入間漁協の友釣り解禁日、6月1日から遡上効果調査を行うこととした。



今回も稚アユはビニール袋に小分けして、秋ヶ瀬堰下流から搬送した



この日は水量が多く、小型魚道に越流水が流入していたため、護岸上で作業した



標識を付けた稚アユは前回と同様に魚道下流部に放流した

● 6月1日(火)／中橋下流で魚籠調査

調査者／金澤

入間漁協管内の友釣り解禁に合わせて、釣り人を対象に魚籠の調査を実施。標識アユの確認はできなかった。

● 7月22日(木)／浅間堰上流・寺山堰下流で調査

天候／晴れ 水量／やや増水

時間／ 9:30 ～ 13:30

調査者／山本、鈴木

○標識放流した浅間堰上流で投網での調査を行なった。一昨年河道が大幅に変わり、投網が打てる瀬は東上線鉄橋の下流だけになっていた。水量が多かったこともあり、アユは捕獲できなかった。

○寺山堰の下流に移動して調査したが、捕獲できたのは全長 125mmの小型のアユ1尾だった。

● 8月1日(日)／豊水橋下流で調査

天候／晴れ 水量／やや増水

時間／ 12:00 ～ 13:00

調査者／浅井、金澤、川島

入間川狭山市のアユ投網漁が解禁。豊水堰下流で投網での調査を行なった。アユ3尾(全長 200 ～ 230mm)を捕獲したが、標識アユは再捕できなかった。

● 8月26日(木)／初雁橋下流・関越自動車

道高架下流で調査

天候／晴れ 水量／平水

時間／ 6:00 ～ 8:00

調査者／鈴木

猛暑のため、早朝に入間漁協の管理区域の最下流域の2カ所で投網で調査を行なったが、アユは捕獲できなかった。関越自動車道下には河川整備時のキャタピラの跡が残っており、アユの生息環境が悪化していて、アユが定着できなかった可能性もある。

● 8月31日(月)／関越自動車道高架下流～八瀬

大橋で調査

天候／曇り時々晴れ 水量／平水

時間／ 7:00 ～ 9:40

調査者／鈴木

高架の400 m上流から八瀬大橋の200 m下流までの間、約600 mの瀬を調査。アユ2尾(全長200mm)を捕獲したが、標識アユは再捕できなかった。

● 9月12日(日)／圏央道高架下流で魚籠調査

調査者／金澤

釣り人の協力を得て、魚籠の調査を行なったが、標識アユの確認はできなかった。

● 9月13日(月)／安比奈公園脇で調査



アユが付き
そうな東武
東上線下流
の瀬で調査
開始
(7 / 22)

鉄橋に向か
い調査した
が、水量が
多くアユは
捕獲できな
かった
(7 / 22)



浅間堰下流
の寺山堰で
調査した。
小型のアユ
1尾を捕獲
(7 / 22)

堰の下流で
捕獲した3
尾のアユ
(8 / 1)



豊水橋の下
流での投網
による調査。
やや増水の
状況での調
査となった
(8 / 1)

キャタピラ
跡が残る関
越の高架下。
アユのは捕
獲できなかった
(8 / 26)



関越の高架
上流から八
瀬大橋下流
まで調査。
アユ2尾を
捕獲した
(8 / 31)

天候／晴れ時々曇り 水量／やや増水

時間／ 9:00 ～ 12:00

調査者／鈴木

公園の脇を下流部から上流に向けて、約 300 m の間を投網で調査した。少し水量が多く難しい状況の中、アユ 2 尾（全長 185mm・200mm）を捕獲したが、標識アユは再捕できなかった。

● 9 月 30 日(木)／浅間堰下流で調査

天候／晴れ 水量／やや増水

調査者／金澤

川越市の標識放流した浅間堰下流で投網に



安比奈公園脇の調査。やや水量が多く、捕獲数は 2 尾だった (9 / 13)



やや増水の浅間堰。上は堰下流で再捕した 2 尾の標識アユ (9 / 30)



投網漁が特別解禁された圏央道高架上流部。最後の調査点 (10 / 14)

より調査。3 尾を漁獲、そのうち 2 尾は全長 240mm に成長した標識アユだった。

● 10 月 14 日(木)／圏央道高架上流で調査

天候／晴れ 水量／やや増水

調査者／金澤

10 月 9 日に入間漁協により豊水橋上流部での投網漁が特別解禁されたため、圏央道高架から上流で調査を行なった。全長 290mm の大アユが捕獲できたが、標識アユは捕獲できなかった。これが最後の調査となった。

浅間堰の遡上補助施設の遡上環境改善についての調査結果

私たちネットワークで実施した浅間堰の遡上補助施設の改修についての結果調査だったが、標識アユの再捕や捕獲情報は 5 つで、浅間堰上流での確認は釣り人からの釣果情報の 1 件だけだった。残りの 4 つは浅間堰下流の再捕確認だった。

放流数が 4557 尾と少なく、入間川は川幅が広く奥も深いため、堰上流部での再捕が難しかった。

放流地点の下流部での再捕が多かったが、下流に滞留したままのアユも多かったことも分かった。

目視ではアユ以外の魚が施設を遡上していることを確認しているの、改修により遡上環境は改善されていると思われる。ただし、堰板が外されている時期での中央プールへの遡上環境改善や流された下流部の隔壁の再改修など、課題も残っている。

4. 矢来堰下流の標識アユ放流と都幾川の遡上調査

矢来堰の新設魚道下流での 2 日間の標識作業

● 4 月 30 日(金)／矢来堰下流で標識放流作業

天候／晴れ 水量／平水

時間／ 11:00 ～ 16:30

従事者／川島・佐藤英・佐々木・鈴木・山本悦・山本実・農林振興センター担当従事者

4 月に完成した矢来堰の階段式魚道の効果調査を行うため、魚道の下流から標識アユを放流することにした。11 時に高坂の倉庫に集合して、資材を軽トラに積み、矢来堰の作業会場に搬送。埼玉西武漁協の活魚運搬車が搬送してくる稚アユの到着に備え生簀を 2 ヶ所、流路中央に設営した。13:30 に搬送してきた相模川の畜養アユが到着した。大急ぎで

15kg の稚アユを生簀にバケツで搬送した。搬送に問題があったため、酸素不足で死んだ個体も多かった。この日は 7 名でヒレ切り作業を行い、519 尾を堰下流に放流した。残った稚アユは、翌日の作業に向けたカワウ対策のため、生簀の上を網で覆った。



今回効果調査した矢来堰に新設された階段式魚道。



稚アユが到着する前に魚道下流に生簀を2ヶ所設置した



堰下流部の河道整備されたままの状態の高水敷で標識作業を行なった



標識作業を終え都幾川に放流した稚アユは、勢い良く上流に向かって行った

● 5月1日(土) / 矢来堰下流で標識放流作業

天候 / 晴れ 水量 / 平水

時間 / 9:00 ~ 10:30

従事者 / 大熊・柏木夫妻・川島・齊木・佐藤英・佐藤正・佐々木・鈴木・宮崎・山本悦・山本実・比企の川づくり協議会・比企自然学校

昨日に現地に残っていたアユの標識作業を実施。流下物が多く、網の目が塞がることによる酸素不足が心配されたが、予想以上に稚アユは元気だった。この日は、都幾川をフィールドに活動する地元団体の人たちも大勢参加して、一緒に標識作業を行なった。作業は1時間ほどで終了し、1,524尾の標識アユを堰下流に放流することができた。



作業の終了後翌日の作業に向けてカワウの捕食を防ぐため、生簀網で生簀全体を覆った

5月1日の作業前に協力のため駆け付けてくれた人に作業手順の説明を行なった



都幾川で活動している比企の川づくり協議会の人たちが多数参加。作業に協力



参加者が多かったことで、予想外に早く標識作業が終了した



標識が終わった稚アユ約1500尾を放流。この日も勢い良く遡上して行った

● 6月11日(金) / 都幾川でアユ生息状況調査

● 6月12日(土) / 槻川でアユ生息状況調査

調査者 / 金澤

● 6月14日(月) / 都幾川の宮ヶ谷戸前堰で調査

調査者 / 金澤

堰下流で友釣りで調査したが、標識アユを再捕できなかった。

● 6月16日(水) / 都幾川の宮ヶ谷戸前堰で調査

調査者 / 金澤

この日も堰下流で友釣りで調査したが、標識アユは再捕できなかった。

● 7月1日(木) / 都幾川の二瀬橋 / 槻川下里堰 ~ 青山堰下流で調査

天候 / 曇り(午前中雨) 水量 / やや増水

時間 / 14:00 ~ 17:00

調査者 / 白石、山本

武蔵漁協の投網漁の解禁に合わせて調査を行なった。都幾川は二瀬橋上流で、槻川は下里堰下流と大河橋下流にある飛び石の下流から青山堰下流まで調査した。雨後のため、若干の増水と濁りがあった。標識アユは再捕できなかった。二瀬橋でアブラビレのあるアユ1尾を捕獲した。

槻川の東秩父村で調査

時間 / 12:00 ~

調査者 / 金澤

解禁に合わせて投網で調査した。アユを6尾(全長150 ~ 190mm)捕獲したが、標識アユは再捕できなかった。



槻川の東秩父村で捕獲したアユ(7/1)

● 7月15日(木)／都幾川の宮ヶ谷戸前堰で調査

水量／増水

調査者／金澤

水量が多かったため、アユは捕獲できなかった。

● 8月12日(木)／都幾川の上用水堰～鞍掛堰下流で調査

天候／曇り 水量／平水

時間／9:00～13:00

調査者／浅井、白石、鈴木、山本

○上用水堰下流の瀬から堰堤まで投網で調査したが、アユは捕獲できなかった。

○神戸大橋から上流に向けて調査した。200m 上流の瀬の落ち込みでアユ1尾(全長165mm)を捕獲したが、標識アユではなかった。

○鞍掛橋上下流で調査したが、網に掛ったのはほとんどがオオクチバス・コクチバスで、アユは捕獲できなかった。

宮ヶ谷戸前堰で下流調査

時間／9:30～12:00

調査者／金澤

投網での調査ができる最上流部の宮ヶ谷戸前堰下流で調査。アユ3尾を捕獲したが標識アユは再捕できなかった。

● 8月14日(土)／都幾川の宮ヶ谷戸前堰で調査

水量／平水

調査者／金澤

堰下流で投網による調査を行なったが、標識アユは捕獲できなかった。

● 8月20日(金)／都幾川の月田橋下流～槻川・都幾川合流点で調査

天候／曇り 水量／やや増水

時間／9:00～12:00

調査者／白石、山本

月田橋下流で投網によりアユを1尾(全長210mm)を捕獲した。その後二瀬橋上流の槻川・都幾川合流点の槻川寄りで、アユを3尾(全長180mmのアユ2尾、全長190mmのアユ1尾)を捕獲した。捕獲した4尾の中に、標識アユはいなかった。

● 8月23日(月)／都幾川の宮ヶ谷戸前堰で調査

天候／雨のち曇り 水量／やや増水

時間／10:30～12:00

調査者／白石、山本

雷雨のため予定していた4名での調査は中止し、2名で降雨後に調査。1尾のアユを捕獲したが逃したため、標識は確認はできなかった。



上用水堰下流の瀬から調査を開始
アユは捕獲できなかった
(7 / 12)



稲荷橋から上流に向かい調査。
アユは捕獲できなかった
(7 / 12)



神戸大橋上流で調査。
アユ1尾を捕獲したが、標識アユではなかった
(7 / 12)



鞍掛橋下流で調査したが、川遊びの人が多くアユは捕獲できなかった
(7 / 12)



宮ヶ谷戸前堰の魚道下流と堰下流で捕獲した捕獲アユ (8 / 12)

月田橋下流で捕獲したアユ(上)と合流点の槻川寄りで捕獲したアユ(下2尾)
(8 / 20)



●9月8日(水)／都幾川の坪ノ内橋～宮ヶ谷戸前堰で調査

天候／曇り 水量／やや増水

時間／ 9:20 ～ 11:40

調査者／浅井・白石・山本・鈴木

坪ノ内橋の上流から宮ヶ谷戸前堰の魚道まで、約1kmを投網で調査した。調査の結果、堰下流の瀬で全長 200mm アユ 1 尾を捕獲したが、標識アユは再捕できなかった。

●9月16日(月)／槻川の小川町下里地区で調査

天候／曇時々晴れ 水量／平水

時間／ 9:00 ～ 12:00

調査者／白石、山本、鈴木

○下里の滝の飛石遊歩道下流部から上流に向けて、約 200 m の間を投網で調査した。アユ 1 尾 (全長 240mm) を捕獲したが、標識アユは再捕できなかった。
○島根橋から上流約 500 m を調査。3 尾のアユを捕獲したが、その中に 1 尾 (全長 250mm) アブラビレが欠損しているアユがいたが、欠損状況から参考資料とした。その他のアユの全長は、210mm と 250mm だった。

○下里堰の下流から堰手前まで約 300 m を調査。アユ 2 尾 (全長 240mm と 260mm) を捕獲したが、標識アユは再捕できなかった。都幾川と比較すると槻川のアユの方が全体に大型であった。

●9月21日(火)／槻川の小川町伝統工芸館～青山堰下流で調査

天候／晴れ 水量／平水

時間／ 9:00 ～ 17:00

調査者／浅井、白石、山本、鈴木

○小川町伝統工芸館脇から大寺橋下流まで約 200 m を投網で調査。アユ 1 尾 (全長 240mm) を捕獲。
○青木橋から上流約 150 m を調査。アユ 3 尾 (全長 230mm ～ 260mm) を捕獲した。
○仙元彩雲橋から上流約 200 m を調査。アユ 1 尾 (全長 235mm) を捕獲した。
○馬橋下流から相生橋まで約 300 m を調査。アユ 6



新玉川橋下流で調査。やや水量が多くアユは捕獲できなかった (9/8)

宮ヶ谷戸前堰下流で調査。アユ 1 尾を捕獲したが、標識アユは捕獲できなかった (9/8)



下里の滝の飛石遊歩道から上流に向けて調査。アユ 1 尾を捕獲 (9/16)

島根橋から上流に向けて調査。アブラビレが欠けているアユ 1 尾を捕獲 (9/16)



下里堰下流で調査。堰堤近くの落ち込みでアユ 2 尾を捕獲。標識アユではなかった (9/16)

下里堰で捕獲した 25cm を超える大型のアユ



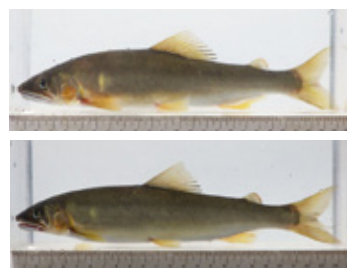
島根橋で捕獲したアブラビレが欠けているアユ



小川町伝統工芸館から大寺橋下流まで調査。アユ 1 尾を捕獲 (9/21)



仙元彩雲橋から上流に向けて調査。アユ 1 尾を捕獲 (9/21)



青木橋上流で捕獲したアユ 2 尾 (9/21)



馬橋下流から相生橋まで調査。標識アユの捕獲情報があったところ（9／21）



ここから大河橋まで約 200 m で調査。橋下でアユを捕獲（9／21）



大河橋下で捕獲したアユ（9／21）



大河橋上流で捕獲したアユ（9／21）

尾（全長 180mm～235mm）を捕獲した。

○大河橋下流約 200 m で調査。橋の上下流でアユ 4 尾（全長 210mm～225mm）を捕獲した。

○大河橋上流から青山堰下流まで約 200 m を調査。アユ 6 尾（全長 160mm～220mm）を捕獲した。

この日は合計で 21 尾のアユを捕獲したが、その中に標識アユはいなかった。

●10月1日(金)／都幾川の宮ヶ谷戸前堰で調査

天候／曇り 水量／平水

調査者／金澤

台風接近前に都幾川で投網での標識アユの調査を行なった。アユ 13 尾（全長 220～240mm）を捕獲したが、標識アユは再捕できなかった。

●10月13日(水)／都幾川の宮ヶ谷戸前堰で調査

調査者／金澤

堰下流で投網で調査したが、アユは捕獲できなかった。標識アユも再捕できなかった。

●10月23日(土)／都幾川の宮ヶ谷戸前堰で調査

調査者／金澤

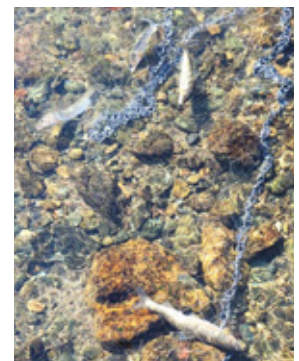
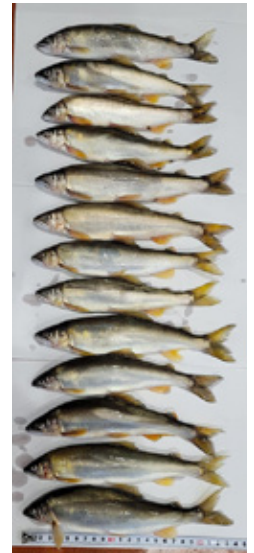
堰下流で投網を使って調査。落ちアユとなった 14 尾のアユ（全長 200mm～260mm）を捕獲し、標識アユを 1 尾再捕した。



宮ヶ谷戸前堰下流で採捕した標識アユ（10／23）



宮ヶ谷戸前堰下流で投網に掛かった群れたアユ。右は捕獲した 13 尾のアユ（10／1）



堰下流で投網に掛かったアユ。左は採捕したアユ 14 尾（10／23）

都幾川矢来堰に新設された階段式魚道の遡上効果調査結果

矢来堰の魚道は台風による氾濫のため、1 年遅れで完成した。蛇籠の堰のため難しい条件の中設計された特殊な階段式魚道で、遡上効果が心配された。

標識アユは畜養した相模川の家産アユで、大型だったため放流尾数は 2,043 尾と少なかった。

調査は都幾川と梶川で行った。梶川では栃本堰の下流で 3 尾の標識アユの捕獲情報があった。都幾川では宮ヶ谷戸前堰の下流で再捕した。都幾川と梶川の合流点下流では再捕できなかった。

調査の結果、魚道を遡上して上流部まで遡上していることが分かった。県の農林振興センターの魚道

出口のうけによる調査でも、アユ以外の魚が遡上していることが確認されている。渇水時に落差ができることや、出口の隔壁の位置が悪く、呼水水路に魚が落ちる可能性があるように思われたが、現状でも魚が利用していることが確認できた。

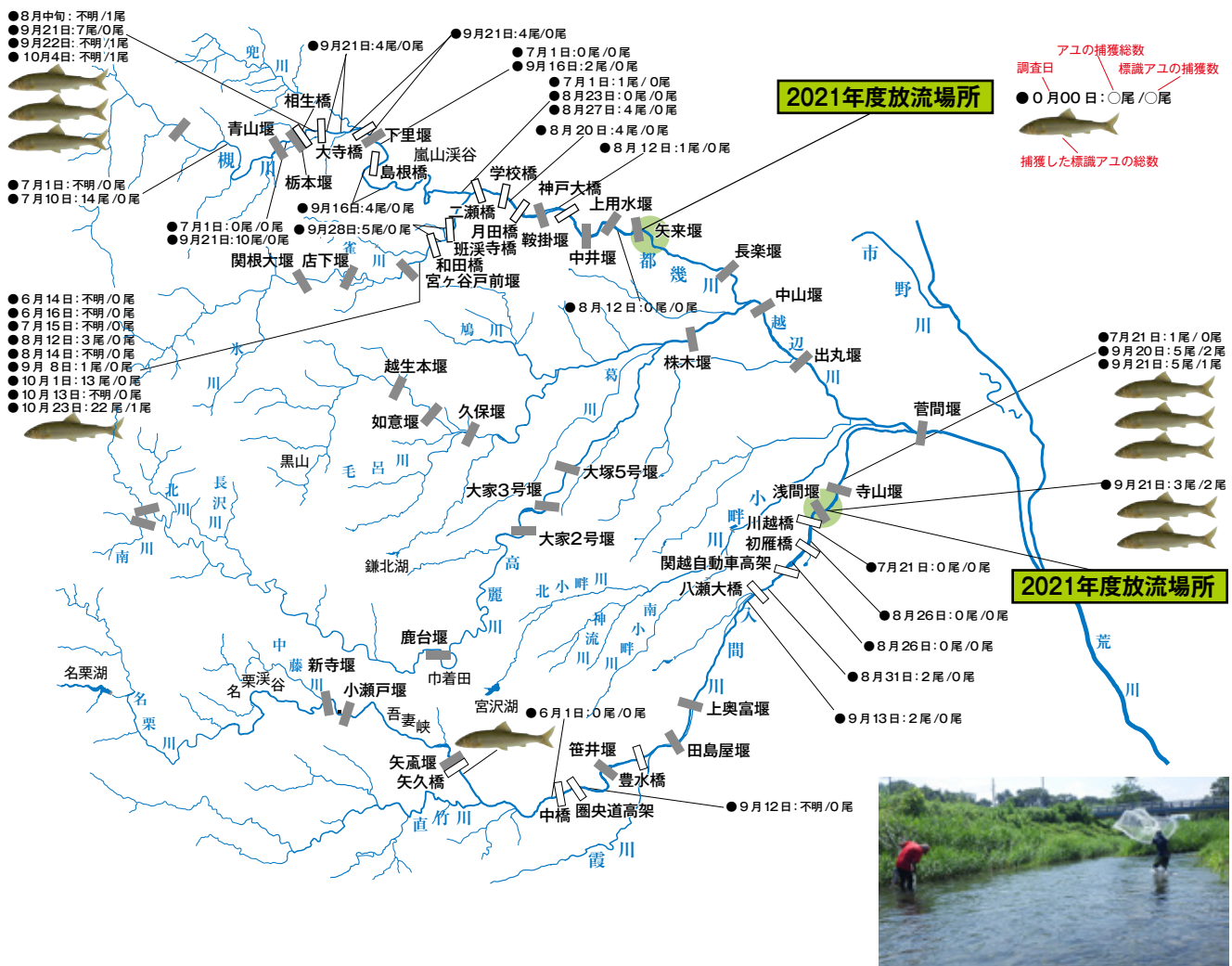
●矢来堰魚道でのうけ網による調査（農林振興センター）

採捕年月日	採捕場所	採捕魚種名	採捕尾数
令和3年 4月23日 (22日うけ設置)	都幾川矢来堰の魚道出口にうけ網を設置	オイカワ	9尾
令和3年 5月24日 (21日うけ設置)	都幾川矢来堰の魚道出口にうけ網を設置	オイカワ	66尾
		ウグイ	7尾
		タモロコ	5尾

改修した浅間堰の遡上補助施設に対する遡上効果調査表 (2021年5月26日～10月14日)

*印の捕獲数は標識放流ポイント下流で捕獲された数

(放流数 入間川 4557 尾／都幾川 2043 尾)



2021 年度 標識アユ調査表②都幾川水系
都幾川矢来堰の魚道に対する遡上調査表 (2021 年 7 月 1 日～10 月 2 日)

調査日	時間	河川名	調査地点	調査方	捕獲・確認アユ数	標識アユ数	調査状況	調査者
6/11(金)		都幾川		目視調査			アユの生息状況を目視で調査した	金澤
6/12(土)		槻川		目視調査			アユの生息状況を目視で調査した	金澤
6/14(月)		都幾川	宮ヶ谷戸前堰下流	友釣り	—	0	標識アユは再捕できなかった	金澤
6/16(水)		都幾川	宮ヶ谷戸前堰下流	友釣り	—	0	標識アユは再捕できなかった	金澤
7/1(木)	14:00～ 17:00	都幾川	二瀬橋上下流	投網	1	0	小型のアユ 1 尾を捕獲した。標識アユは再捕できなかった	白石、山本
		槻川	下里堰下流		0	0	アユは捕獲できなかった	
			大河橋～青山堰		0	0	アユは捕獲できなかった	
		槻川	東秩父村	投網	6	0	標識アユは再捕できなかった	金澤
7/10(土)		槻川	東秩父村直売所脇	投網	14	0	全長 160mm～220mmのアユ 14 尾を捕獲。標識アユは捕獲できなかった	加藤（武蔵漁協）
7/15(水)		都幾川	宮ヶ谷戸前堰下流	投網	—	0	標識アユは再捕できなかった	金澤
8/12(木)	9:30～	都幾川	上用水堰下流	投網	0	0	アユは捕獲できなかった	浅井、白石、鈴木、山本
	10:30～		神戸大橋上流		1	0	全長 165mmのアユ 1 尾を捕獲。標識アユは再捕できなかった	
	11:50～		鞍掛橋下流		0	0	アユは捕獲できなかった	
	9:30～		宮ヶ谷戸前堰下流		3	0	アユ 3 尾を捕獲。標識アユは再捕できなかった	
8/14(土)		都幾川	宮ヶ谷戸前堰下流	投網	2	0	標識アユは再捕できなかった	金澤
		槻川	馬橋下流～相生橋	投網	—	1	標識アユ 1 尾を捕獲した	白石(兄)情報
8/20(金)	9:00～	都幾川	月田橋～都幾川 槻川合流点	投網	4	0	月田橋下流で全長 210mmのアユ 1 尾、都幾川・槻川合流点の槻川寄り全長 180mm～190mmのアユ 3 尾を捕獲。標識アユは再捕できなかった	白石、山本
8/23(月)	10:30～	都幾川	二瀬～千騎沢橋	投網	0	0	アユ 1 尾を捕獲したが逃したため標識の確認はできなかった	白石、山本
8/27(金)	10:00～	槻川	都幾川槻川合流点～槻川橋下流	投網	4	0	全長 200mm～240mmのアユ 4 尾捕獲。標識アユは再捕できなかった	白石、山本
8/28(土)	9:00～ 12:30	都幾川	槻川合流点上流	投網	0	0	上流約 100m 調査。アユは捕獲できなかった	浅井、白石、鈴木、山本
			班渓寺橋上流		4	0	全長 200mm～240mmのアユ 4 尾を捕獲。標識アユは再捕できなかった	
			和田橋下流		1	0	全長 200mmのアユ 1 尾を捕獲。標識アユは再捕できなかった	
9/8(水)	9:20～	都幾川	坪ノ内橋～ 宮ヶ谷戸前堰	投網	1	0	全長 200mmのアユ 1 尾を捕獲。標識アユは再捕できなかった	浅井、白石、鈴木、山本
9/16(月)	9:00～ 12:30	槻川	下里の滝上流	投網	1	0	約 400m 調査。全長 240mmのアユ 1 尾を捕獲。標識アユは再捕できず	浅井、白石、鈴木、山本
			島根橋上流		3	0	全長 200mm～240mmのアユ 3 尾を捕獲。その中に 1 尾アブラビレが結婚しているアユが 1 尾いたが、欠損状況から自然欠損とした	
			下里堰下流		2	0	全長 240mm～260mmのアユ 2 尾を捕獲。標識アユは再捕できなかった	
9/21(火)	9:00～ 17:00	槻川	大寺橋下流	投網	1	0	全長 240mmのアユ 1 尾を捕獲。標識アユは再捕できなかった	浅井、白石、鈴木、山本
			青木橋上流		3	0	全長 230mm～260mmのアユ 3 尾を捕獲。標識アユは再捕できなかった	
			仙元彩雲橋上流		1	0	全長 235mmのアユ 1 尾を捕獲。標識アユは再捕できなかった	
			馬橋下流～相生橋		6	0	全長 180mm～235mmのアユ 6 尾を捕獲。標識アユは再捕できなかった	
			大河橋下流		4	0	全長 210mm～225mmのアユ 4 尾を捕獲。標識アユは再捕できなかった	
			大河橋上流		6	0	全長 160mm～220mmのアユ 6 尾を捕獲。標識アユは再捕できなかった	
9/22(水)		槻川	馬橋下流～相生橋	投網	—	1	全長 200mmの標識アユ 1 尾を捕獲した	白石(兄)情報
10/1(金)		都幾川	宮ヶ谷戸前堰下流	投網	13	0	全長 220mm～240mmのアユ 13 尾を捕獲。標識アユは再捕できなかった	金澤
10/4(月)		槻川	馬橋下流～相生橋	投網	—	1	全長 220mmの標識アユ 1 尾を捕獲した	白石(兄)情報
10/13(水)		都幾川	宮ヶ谷戸前堰下流	投網	—	0	標識アユは再捕できなかった	金澤
10/23(土)		都幾川	宮ヶ谷戸前堰下流	投網	27	1	全長 200mm～260mmのアユ 22 尾を捕獲。標識アユ 1 尾を再捕した	金澤
合 計					107	4		



**ARAKAWA
BASIN
NETWORK**